

## マインドマップのススメ

福島センターの矢口君からバトンを受け取りました、高橋です。このバトンは、大学時代にバンドを組んでいた5人のメンバーに順番に渡っていて私で最後です。気になるといいますので言っておきますが、当時のバンド名は「ラ〇ラスBand」です。別にメンバーがラ〇ラス変換が得意だったからというわけではなく、悲しいかなその逆です。〇の部分は指導員ならわかりますよね。

皆さん、物事を決めるときはどのようにしていますか？ 今日夕飯、明日の予定など小さな事柄であれば、頭の中で考えられるかもしれませんが、複数人が集まって決める事柄（年度計画、セミナー計画、委員会など）はなかなか難しいですね。各人からいろいろな意見が出て、なかなか話がまとまらない、いつになっても会議が終わらない、特定の人だけが一方的に話をし、その他はだんまり。会議のコストですが、「10人で1時間の会議」を1人の仕事量にすると10時間分になります。もったいないですね。有意義な会議であればいいのですが……。

映画「12人の優しい日本人」を見たことがありますか？ 12人の陪審員がそれぞれ意見を主張し、いつになっても話がまとまらないという話。もしかして、会議が長くなるのは、日本人の文化かもしれません。

それでは、どのように意見や考えをまとめるかですが、数人の会議であれば「KJ法」がお勧めです。KJってアメリカンチックですが、思いっきり日本人です。日本人による日本人のための手法。

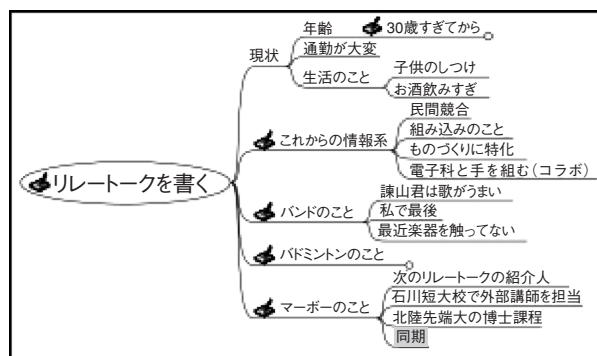
細かい方法はアビリティガーデンのホームページにわかりやすく書いてあります。

<http://nokai.ab-garden.ehdo.go.jp/giho/43.shtml>

簡単に言うと、皆に自由、勝手、気ままに何でも言ってもらい（誹謗中傷はなし、事実のみ）、紙やホワイトボードに書いていきます。その後、意見をグループ化し、まとめていきます。利点は、

- ・皆の意見が反映されるため、参加意識が高まる。
- ・面白い意見が出てくる。いい意味で。

欠点は、まとめる際にごちゃごちゃしやすい。グループ化や矢印を書くなど汚くなります。そこで、これを解決する良いものを最近見つけました。「マインドマップ」です。使い方はKJ法に似ており、さらに、フォーマット（階層型）が綺麗です。ホームページで検索するとたくさん出てきますので詳細はそちらを見てください。ブレインストーミング以外にも工夫次第で使えそうです。今回のリレートークの内容も「マインドマップ」（フリーウェア「FreeMind」）で書きました。意見をまとめる際に活用してみてもはどうでしょう。



次のリレートークですが、北陸先端大の博士課程で学生の畠山さんをお願いしました。彼とは友人で、石川短大校にいた頃、外部講師としていろいろとお世話になりました。では、よろしくお願いします。